

## 金属プレス研修塾 大阪鋼圧見学

日 時 : 令和 8 年 (2026 年) 2 月 10 日 (火) 14:00 ~ 16:00  
訪 問 先 : 株式会社大阪鋼圧株式会社 (大阪府大阪市大正区泉尾 7-1-11)  
内 容 : 挨拶、会社説明、見学 (スリッターライン、レベラーライン)、質疑応答など  
参 加 者 : 17 名 (塾生 11 名、他 3 名)

金属プレス研修塾は、金属プレス製品が出来るまでの過程 (①製鉄所→②コイルセンター→③金型製作→④プレス製品製作) を学びますが、今回は②コイルセンターの会社見学として、大阪鋼圧(株)を訪問しました。

コイルセンターとは、鉄鋼メーカーで製造されたホットコイル (熱延帯鋼ともいいます) を専用の加工ラインで矯正したり切断することで平らな板にしたり (レベラー加工)、狭い幅に裁断したり (スリット加工) する会社で、今回訪問させていただいた大阪鋼圧(株)は、昭和 29 年 (1954 年) 3 月創業、熱延帯鋼のスリット・レベラー加工鋼板・帯鋼の販売を行っている会社です。



大阪鋼圧(株)に到着後、まずは稗田社長からのご挨拶、次に会社を紹介していただき、見学に出発しました。2 班にわかれての見学、大きな音の出る機械が多いため、インカムでの説明など、塾生たちは理解しやすい環境で工場見学を行うことができました。



3 号・5 号のスリットライン、6 号のレベラーラインを見学、どちらのラインも自動化が進んでおり、従業員の皆さんがコントロールパネルのボタンを操作しながら、工程を進めていました。ただ、すべてが自動化されているのではなく、手作業の部分もあり、そこは熟練の技が発揮される業務であり、危険と隣り合わせの職場でもありました。この点は、みんなで改善提案を出し合うことで、ゼロ災継続に向けて取り組んでいる、とのことでした。

今回の工場見学で特筆すべき点は、大阪鋼圧(株)では工場内での写真も動画も撮影 OK で、塾生も多くの写真や動画を撮っていました。また、身近にラインを見学させていただけることは珍しく、とても貴重な経験となりました。

さらに、会社はマンション等が立地する中にあり、騒音など環境問題にも取り組み、地域社会の一員として共存共栄しているお話も聞くことができました。

このような経験ができる機会はそう多くありません。第 4 期も募集予定ですので、会員企業の従業員の方への学びの場として、ぜひご検討~参加いただくと幸いです。

